

沿道掘削施工協議書

令和 年 月 日

(宛先) 中央区長

協議者 (工事施工者)

住 所

氏 名

連絡先 TEL ()

担当者

下記のとおり沿道を掘削したいので、協議します。

記

- 1 位 置 中央区 丁目 番 号
- 2 目 的 ビル 工事に伴う
のため沿道に を打ち込み山留工事
を行うため
- 3 掘削範囲
 - (1) 沿道延長 メートル
 - (2) 沿道延長区分
 - ア 車道延長 メートル
 - イ 歩道延長 メートル
 - (3) 掘削深度 メートル から メートル
 - (4) 境界からの離れ メートル から メートル
- 4 掘削期間 回答の日から令和 年 月 日まで
- 5 全体工期 令和 年 月 日から
令和 年 月 日まで

委 任 状

私は、工事施工者 _____ を代理人と定め
下記の権限を委任します。

記

- 1 工事場所 中央区 _____ 丁目 番 号
- 2 工事件名 _____
- 3 委任事項 上記工事に伴う沿道掘削及び復代理人の選定に
関する件。

令和 ____ 年 ____ 月 ____ 日

委 任 者 住 所
(建 築 主)

氏 名

印

復 委 任 状

私は、現場監督者 _____ を代理人と定め
下記の権限を委任します。

記

- 1 工事場所 中央区 _____ 丁目 _____ 番 _____ 号
- 2 工事件名 _____
- 3 委任事項 上記工事に伴う沿道掘削に関する一切の件。

令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日

委 任 者 住 所
(工事施工者)

氏 名

印

誓 約 書

令和 年 月 日

(宛先) 中央区長

建築主 住所
氏名 印

施工者 住所
氏名 印

下記工事を施工するために必要な掘削に当たりましては、区の指示事項を厳守し、危害防止はもちろん、道路管理上も支障のないよう努めると同時に新築工事においては従前の道路損傷についても復旧します。

なお、万一工事のため生じた道路地中埋設物等の破損、道路の沈下、その他一切の損傷について区の指示に従い、施工計画書を区に提出し承認を得た上で復旧し、その費用等に関し一切当方において負担いたします。

また、当該建物が公私境界線を越えたときは、越えた部分を直ちに除去いたします。

あわせて、同一施工者、同一建築主により解体工事に引続き新築工事を期間延伸の手続きで行う場合は、新築工事についても上記のとおり誓約いたします。

記

- 1 工事場所 中央区 丁目 番 号
- 2 工事名称

建築仕様書

1 工事期間 令和 年 月 日から令和 年 月 日まで

2 建築場所 中央区 丁目 番 号

3 建築面積

4 敷地面積

5 構造及び階数

6 延べ面積

7 最 高

8 軒 高

9 地階床深及び面積

10 用 途

11 設 備

12 建築主住所氏名

13 設 計 者

14 工事施工者

15 建築確認年月日 令和 年 月 日

16 建築確認番号 第 号

(参考例)

山留・根伐工事仕様書

- 1 親杭 H型鋼-300×300×10×15 長さ 20m
間隔 1.5m 根入 3.0m
アースオーガー機で穿孔し、同時にベントナイト溶液を注入してH型鋼を落とし込む。根入れ部分は打込み。
根伐 深さ 2.7m 横矢板 100×200mm 米松
- 2 腹起 H型鋼-360×350×12×19
- 3 切梁 1段 GLから m
2段 GLから m
3段 GLから m
- 4 支持杭 H型鋼-300×300×10×15 長さ 20m
- 5 山留取付 取付けはボルト締めとし、腹起・切梁支持ブラケットは溶接とする。
- 6 根伐方法 ブルドーザーで土砂を削り、クラムシェルで土砂を揚げトラックに積み込む。
- 7 埋め戻し 地下外壁部の型枠を撤去した後に山砂を使用し、30cm程度平均的に埋め戻した後、突き固め水締めを行い原状に復旧する。
- 8 親杭撤去 埋め戻し完了後、バイブロを使用して親杭及び支持杭を抜き、その後、抜いた穴に良質山砂を充填する。

〈注意〉山留に使用するH鋼は、250mm×250mm以上の角で計画してください。

レール又は200mm×200mm角を予定する場合には、事前に本区技術指導担当に相談してください。

この仕様書は一つの例文ですから、各採用する工法に応じて記述してください。